



長門の話題 Topics

ふるさと産業フェスタinながと ながとの『うまい!』集まれ

11月21日(土)、「うまいがいっぱい」をキャッチフレーズに「ふるさと産業フェスタinながと」が、ルネッサながとで行われました。これは、ふるさとの「食」を知ることで食の安心・安全について考えようと、県・市・長門商工会議所・ながと大津商工会などが共同で開催したものです。



地元の新鮮な魚、野菜や加工品などの物産展や市内8店舗の職人による地元食材を使った創作弁当の販売のほか、「ためしてガッテン」でおなじみのNHKアナウンサー小野文恵さんの講演会や、平生町の野菜ソムリエ工柳井さつきさんのトークショーなどが行われました。創作弁当は、200食限定ということもあり、販売開始の1時間以上前から長い列ができるほどの人気でした。

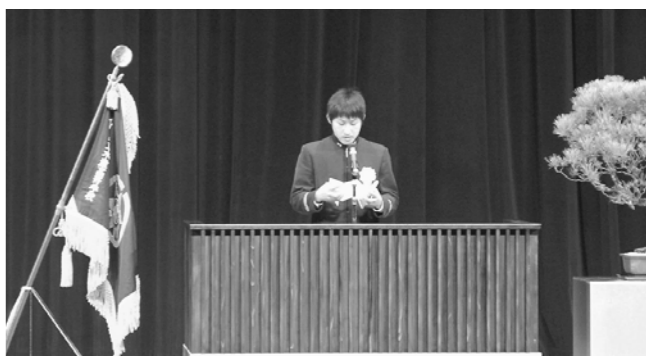


水産高等学校創立70周年記念式典

水高魂の継承を誓う

11月27日(金)、山口県立水産高等学校の創立70周年記念式典がルネッサながとで行われました。式には、南野市長をはじめ松永市議会議長、江原教育長や歴代校長など約200人が出席しました。

来賓としてあいさつに立った南野市長は、「水産高校は、過去多くの人材を輩出し、水産業界の発展に大きく貢献された。統合しても校風を尊重し、りっぱな学校になることを願います」と祝辞を述べました。最後に、生徒代表の石井健一さんが「県内唯一の水産高校としての誇りを大切に、先輩から受け継いだ水高魂を先輩に伝えていきたい」と話しました。



よいこと表彰・家庭の日フォトコンテスト表彰式 優しさあふれるまちにしよう

11月28日(土)、平成21年度「よいこと表彰」の表彰式が市教育委員会で行われました。この表彰は、地域・社会や個人に貢献している個人・団体の業績を表彰し、市内の次世代を担う児童生徒の健全育成を推進しようと「長門市青少年育成市民会議」が毎年

行っているもので、今年は11個人と1団体が表彰されました。また、この日は同会議が、家族のふれあいをテーマに募集した「第2回家庭の日フォトコンテスト」の表彰式も行われました。被表彰者、受賞者は市の公式ホームページで紹介しています。



三隅地区ごみ収集車納車式 環境美化に活躍するぞ!

11月30日(月)、三隅支所で新しいごみ収集車の納車式が行われました。この収集車は、三隅地区で今まで使われていた収集車が老朽化したため、国の地域活性化・経済対策臨時交付金事業を活用して購入されたものです。

語の作者、三隅中1年生の永岡大樹君も招いて行われました。この標語は山口県快適環境づくり連合会主催の環境保全・環境美化標語コンクール中学校の部で優秀賞を受賞。「すてないで使えるものはリサイクル」と、環境保全を訴えたものです。



大畑を語る会・文化交流デー 世代を超えて夢語る会

11月28日(土)、「大畑を語る会・文化交流デー」が、大畑小学校の閉校記念事業第5弾として大畑小体育館で開かれ、「夢語りの会」として4人の卒業生や元教員が、児童や保護者、地区住民ら約30人を前に地域や学校生活の思い出を語りました。

11月28日(土)、「大畑を語る会・文化交流デー」が、大畑小学校の閉校記念事業第5弾として大畑小体育館で開かれ、「夢語りの会」として4人の卒業生や元教員が、児童や保護者、地区住民ら約30人を前に地域や学校生活の思い出を語りました。その中の1人、諏山治之さんは、昔チャイムとして使われていた鐘や草履を持参。現在の生活との違いを説明し、「皆さんが成長し、都会に行く機会が増えるほど、大畑の大自然の素晴らしさが分かる。ここでの思い出を大切にしてほしい」と語りました。このあと、児童が用意したゲームで地域の人たちと遊ぶ「ふれあい秋祭り」や、「ピザ作り教室」も行われました。



地域文化に多大な貢献 県文化功労賞受賞

おざき しんご
尾崎 真吾 さん(イラストレーター)

ちよつと
小耳に

本紙裏表紙に掲載中の、「みすゞギャラリー」のイラストを手がける尾崎真吾さんが「第14回山口県文化功労賞(美術部門)」を受賞されました。この賞は、芸術、文化の各分野で高い功績を挙げた人に県が贈るものです。尾崎さんはこれまで、全日本CM協議会グランプリ、カンヌ映画祭の広告部門(アニメーション)銀賞など数々の賞を受賞され、その後キヤノンやパナソニックなど大手企業にイラストを提供。さらに、

郵便局のふるさと切手や観光列車「みすゞ潮彩」のデザインも担当するなど、地域でも幅広く活動されています。「今回の受賞で、創作のモチベーションがさらに高まりました」と尾崎さん。今後について尋ねると、「最近は、構想から制作までを一人で全部していました。それはすごく大変。チームで仕事する事の大切さを感じています。今後はデザイナーやコピーライターの人たちと役割分担をして、よりよい作品を創作していきたいと思います。あと、僕はとにかく船が好き。いつか船の絵や模型を展示した博物館を作ってみたいですね。夢は広がるばかりだなあ」と楽しそうに語られました。



今月のみすゞギャラリーイラスト制作

長門の People



レノファ山口FCサッカー教室

めざせ未来のJリーガー

12月12日(土)、サッカーJリーグ入りを目指して活動中の「レノファ山口FC」によるサッカー教室が三隅勤労者トレーニングセンターで行われました。これは長門青年会議所が青少年育成事業の一環として開催したもので、市内の小中学

生約40人が参加しました。この日はあいにくの雨模様で、室内での実施となりましたが、長門高校教諭でもある石上選手をはじめ9人の選手・コーチがパスやドリブルなどの基礎から実践的な動き方までを指導。子どもたちは熱心に耳を傾けていました。



通中学校「食育の日」

自分で作った、味わった!

12月9日(水)、通中学校で食育の日が行われました。これは、栄養バランスのとれた献立を自分たちで考え、実際に調理し食べることで、食べ物と栄養への感心を高めようという企画されたものです。全校生徒28人が7つの班に分かれて、ハンバーグや酢豚

など自分たちで考えた献立に取り組みました。生徒たちはそれぞれの班で、慣れない包丁を使って野菜を切ったり、フライパンで肉を炒めたりしました。ご飯は、飯ごう炊きんにチャレンジ。米を水でといた後、ブロックで作ったかまどにかけて炊きました。



平成21年度介護予防市民公開講座

認知症を支える地域づくり

12月6日(日)、ラポールゆやで、認知症の理解と支援を深めるための介護予防市民公開講座が開かれました。講師として招かれたのは、グループふあみりえホーム長の太谷るみ子さん。「いつも笑顔でいることが認知症の予防には大切です」と話されました。



第14回夢岬サーフィンコンテスト

冬の海で大技に挑む

11月22日(日)、第14回夢岬サーフィンコンテストが川尻の大浜海岸で開催され、約130人が参加しました。波の本数は少なかつたものの、選手たちは数少ないチャンスの中で、力強いライディングと完成度の高い技を披露。集まった観客を魅了しました。



いつも笑顔で!

はせがわ まい
長谷川 舞 さん(長門市役所勤務)

熱血!
新鮮力



※仕事は 4月から税務課管理収納係に勤務しています。主には窓口で納税証明書などの発行をしています。お客様にはいつも明るく笑顔で対応するように心がけています

※趣味は 和太鼓にはまっています。『俄』という市内の和太鼓チームで活動中です。週1回の練習をとても楽しみにしています

※自由な一言 まだまだ勉強することがたくさんあるのですが、早く一人前になって市民の皆さんの役に立てるように一生懸命がんばります

